

危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章受章 中島 康雄さん(田代)



中島さんは、昭和58年4月に名古屋市消防局に入局してから、令和3年3月に消防監として退職するまで、38年の長きにわたり消防業務に従事されました。大曾根の爆発火災では現場の指揮を執り、御嶽山の火山噴火災害では愛知県隊の副隊長を務めるなど、常に最前線で献身的に活動されました。

瑞宝単光章受章 牧田 重樹さん(北及)

牧田さんは、昭和49年8月に羽島市消防本部に入庁してから、平成27年3月に消防司令として退職するまで、40年の長きにわたり消防業務に従事されました。率先して消火活動や人命救助にあたり、後進の技術指導や地域の火災予防活動に尽力し、消防力の充実強化に大きく貢献されました。



令和7年秋の叙勲

瑞宝小綬章受章 長屋 千秋さん(中新町)



長屋さんは、34年の長きにわたり主に県内の工業高校で電気電子科の教諭を務められ、岐阜工業高等学校校長として退職された後も、地域産業の担い手となる人材確保に尽力されています。専門的な技術と豊かな人間性を育む指導で、地域の若者を力強く導いてこられた功績が認められ、今回の受賞となりました。

旭日双光章受章 岡田 文雄さん(北及)

岡田さんは、平成7年4月から8期29年の長きにわたり笠松町議会議員として、公共施設や公園の整備、町民バスの有効活用など町民の暮らしに直結する問題に取り組み、住みよいまちづくりに尽力されました。また、平成20年4月からの1年間をはじめ通算3年間は議長として、議会の円滑な運営に大きく貢献されました。



旭日単光章受章 小林 正明さん(二見町)



小林さんは、平成20年6月から4期16年の長きにわたり笠松町監査委員として、町の予算執行や事業運営の監査に尽力されました。特に毎月の現金出納検査では、その知識と経験から、歳入歳出の細部にわたりの確かな指導・助言を行い、町行財政の適正で効率的な運営に大きく貢献されました。